

令和7年度第2回練馬区立美術館運営協議会 次第

日時：令和8年3月17日（火）午後2時

場所：サンライフ練馬 研修室

- 1 令和8年度事業計画（案）
 - （1）収支予算
 - （2）展覧会事業
 - （3）教育普及事業
 - （4）地域連携事業
 - （5）資料収集・整理、保存事業
 - （6）広報業務
 - （7）施設貸出事業

- 2 令和7年度事業計画（中間報告）
 - （1）展覧会事業
 - （2）美術作品の収集事業
 - （3）広報活動と反響

- 3 その他

令和7年度

第2回 練馬区立美術館運営協議会資料

令和8年3月

令和7年度第2回練馬区立美術館運営協議会資料 目次

練馬区立美術館運営協議会委員名簿	1
練馬区立美術館運営協議会条例	3
1 令和8年度事業計画（案）	5
(1) 収支予算	5
(2) 展覧会事業	6
若林奮展／寺田真由美展（仮称）	7
アーツ中村橋 2026 ― わたしとまちの記憶（仮称）	8
戦後アヴァンギャルド×ユアサエボシ（仮称）	9
野見山曉治展（仮称）	10
(3) 教育普及事業	11
(4) 地域連携事業	13
(5) 資料収集・整理、保存事業	13
(6) 広報業務	13
(7) 施設貸出事業	13
2 令和7年度事業計画（中間報告）	14
(1) 展覧会事業	14
(2) 美術作品の収集事業	16
(3) 広報活動と反響	17

第20期 練馬区立美術館運営協議会委員名簿

	氏 名	役 職
学識経験者	タカハン ヨウジ 高橋 幸次	元日本大学芸術学部 教授
	サトウ ヤスヒロ 佐藤 康宏	東京大学名誉教授
	ナイトウ マサト 内藤 正人	慶応義塾大学教授
	マブチ アキヨ 馬渕 明子	日本女子大学名誉教授
	タナカ アツシ 田中 淳	大川美術館長
	セキ ナオコ 関 直子	早稲田大学文学学術院教授
練馬区議会 議員	つじ セイシン つじ 誠心	区議会議員
	ミズカミ アキヨ 水上 明子	区議会議員
	コマツ あゆみ 小松 あゆみ	区議会議員
	イシモリ アイ 石森 愛	区議会議員
公募区民	スドウ アサヨ 須藤 麻世	公募区民
	ハタ チエヨ 畑 智江子	公募区民
	イシハラ ヒデオ 石原 秀男	公募区民
美術団体 関係者	ヨシダ ミゾウ 吉田 巳蔵	練馬・文化の会代表
	シマダ コウイチロ 島田 紘一呂	練馬区美術家協会会長
学校教育 関係者	コムロ ケンイチ 小室 賢一	区立中学校長
	ミヤザキ ハルミ 宮崎 晴美	区立小学校長

練馬区立美術館運営協議会条例

昭和60年10月8日

条例第45号

(設置)

第1条 練馬区立美術館（以下「美術館」という。）の運営方針および事業計画を協議するため、練馬区立美術館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 協議会は、区長の諮問に応じてつぎに掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 美術館の運営方針に関すること。
- (2) 美術館の事業計画に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、区長に意見を述べることができる。

(定数)

第3条 協議会は、委員19人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、つぎの各号に定めるところにより、区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 8人以内
- (2) 練馬区議会議員 4人以内
- (3) 区民 3人以内
- (4) 美術団体関係者 2人以内
- (5) 学校教育関係者 2人以内

2 前項第3号に規定する区民は、公募により選任するものとする。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

第6条 協議会に会長および副会長を各1人置く。

- 2 会長および副会長は、委員が互選する。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 会議の議長は、会長が務める。
- 4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くこ

とができる。

(部会)

第8条 協議会は、第2条第1項に規定する事項について調査検討を行うため、部会を置くことができる。

2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。

3 部会は、協議会の求めがあったときは、必要な事項を報告しなければならない。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、地域文化部において処理する。

(委任)

第10条 この条例の施行について必要な事項は、練馬区規則で定める。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

付 則 (平成23年12月条例第53号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

付 則 (平成26年12月条例第49号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

1 令和8年度 事業計画(案)

(1) 収支予算

① 指定管理者収支予算

(単位：千円)

経費種別	支出				収入			
		施設 管理費	事業費	人件費		指定管理 業務費	利用料金・ 物販等	その他
人件費	95,886	0	0	95,886	95,886	0	0	
美術館維持経費	106,135	106,135	0	0	106,135	105,431	704	
展覧会事業費	81,099	0	81,099	0	81,099	60,469	19,830	
教育普及事業費	12,558	0	12,558	0	12,558	12,260	298	
収蔵品移転準備費	25,146	0	25,146	0	25,146	25,146	0	
練馬区立美術館 維持運営費 計	320,824	106,135	118,803	95,886	320,824	299,192	20,832	

② 区直接執行予算(美術館維持運営費・美術館再整備事業経費)

項目	支出額
美術館運営協議会 委員報酬	447
資料収集委員会委員等 謝礼	201
美術館再整備事業経費	22,705
消耗品費	5
区執行額計	23,358

【参考】区直接執行予算(美術の森緑地維持管理費)

項目	支出額
光熱水費	186
消耗品費	35
樹木せん定料	1,910
維持管理等委託料	4,783
維持補修費	1,379
区執行額計	8,293

(2) 展覧会事業

令和8年度 展覧会等事業日程(案)

会期	展覧会名	会場	担当
6月26日 7月5日 <9日間>	第72回練馬区美術家協会展 (主催:練馬区/練馬区美術家協会)	練馬区立美術館	
7月25日 10月18日 <74日間>	【有料】 若林奮展/寺田真由美展(仮称)	練馬区立美術館	小野
9月12日 11月8日 <58日間>	【無料】 アーツ中村橋2026 ― わたしとまちの記憶(仮称)	練馬区立美術館 美術の森緑地 サンツ中村橋商店街ほか	新井 小野
10月31日 12月27日 <50日間>	【有料】 戦後アヴァンギャルド×ユアサエボシ(仮称)	練馬区立美術館	木下
2月6日 2月14日 <8日間>	第58回練馬区民美術展 (主催:練馬区)	練馬区立美術館	
2月21日 3月31日 <33日間>	【有料】 野見山暁治展(仮称)	練馬区立美術館	加藤

若林奮展／寺田真由美展（仮称） 開催要項

- 1 開催趣旨

令和6年度に彫刻家、若林奮（1936－2003）の彫刻《Run and Rest》（1996年）、版画《GRASS》（1993年）、ドローイング68点をご寄贈いただきました。若林は、主に金属を用い、「自然」、「時間」、「空間」などに対する自らの思索を表現した彫刻家です。このコレクションは、当館にとって初めての若林作品の収蔵であり、一人のアーティストの活動を紹介するに十分な質とボリュームを築くことができました。これを記念し、日本の現代彫刻を代表する彫刻家、若林奮の個展を開催します。

また、あわせてニューヨーク在住で、練馬出身のアーティスト、寺田真由美（1958生）の個展を開催します。令和元年に29点にも及ぶ代表作を寄贈いただきました。寺田は、室内模型を作成し、まるで本物の一室のように見立てて撮影した内省的な雰囲気の写真作品を長年制作してきました。そのほとんどが白を基調としたモノクロでしたが、近年の作品には淡い色が表れています。初期の立体から、多くの写真とその模型と幅広く、寺田の活動を振り返ります。

若林展、寺田展、ともに当館コレクションを中心とした2つの個展として同時開催します。
- 2 会 期 令和8年7月25日（土）～10月18日（日） 実働74日間
- 3 会 場 練馬区立美術館 企画展示室1・2
- 4 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 5 内 容 若林：彫刻、版画、ドローイングなど 寺田：写真、立体、模型など
- 6 図 録 制作する
- 7 観 覧 料 500円
- 8 イベント 講演会、ギャラリートークなどを開催
- 9 観覧者見込 11,100人（150人／日）
- 10 担 当 学芸員 小野寛子

アーツ中村橋 2026 — わたしとまちの記憶（仮称） 開催要項

- 1 開催趣旨

令和7年度、「アートマルシェ 2025」にあわせて、まちとつながる
展覧会「身体で感じる緑とアート」展を開催しました。令和8年度は
その第2弾として、「アーツ中村橋 2026」展を開催します。

「わたしとまちの記憶」（仮称）をこのテーマに、「まちの記憶」、「日
常の思い出」、「わたしの物語」の3セクションから、私たちと中村橋
の過去と現在を、写真・彫刻・絵画・インスタレーションなどの多様
な作品でつないでいきます。美術館や美術の森緑地のほか、商店街な
ど中村橋各所を展示場所とし、参加作家には大小島真木、袴田京太郎
などの数名の美術家らと、当館所蔵作品から数点の紹介を予定してい
ます。

会期末には、「アートマルシェ 2026」（11月7日（土）・8日（日））
が開催されます。本事業は美術館再整備基本構想のコンセプト「まち
と一体化した美術館」に基づいた、美術館のある街を盛り上げるイベ
ントです。
- 2 会 期 令和8年9月12日（土）～11月8日（日）まで 実働58日間
※ 館内展示は、令和8年9月12日（土）～10月18日（日）まで（実
働32日間）
- 3 会 場 練馬区立美術館、美術の森緑地、サンツ中村橋商店街ほか
- 4 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 5 内 容 絵画、彫刻、インスタレーションなど
- 6 図 録 制作する
- 7 観 覧 料 無料
- 8 イベント ガイドツアーなどを開催
- 9 観覧者見込 4,800人（150人／日）
- 10 担 当 学芸員 新井晃・小野寛子

戦後アヴァンギャルド×ユアサエボシ（仮称） 開催要項

- 1 開催趣旨

本展覧会では、当館収蔵作家を中心に戦後の日本で活躍したアヴァンギャルド作家と、戦後社会やそこで生まれた表現のなかに、今日の視点から新たな物語を書き加える現代作家・ユアサエボシ(1983-)を紹介し、両者のあいだに作品を通じた架空の交流のネットワークを新たに描き出すことを試みます。

第一部では、高山良策（1917-1982）、池田龍雄（1928-2020）、中村宏（1932-2026）らを中心に戦後アヴァンギャルドを紹介します。彼らはシュルレアリスムへの関心を背景に持ちつつ、政治や社会を風刺したり、身近なモチーフを異形の存在として描き出したりすることによって、時代の空気を色濃く反映した表現世界を切り開きました。戦後アヴァンギャルド作家たちの作品が捉えた、戦後の混乱や新たな時代・社会を求めるダイナミズムをひもときます。

第二部で特集するユアサエボシは、架空の存在である大正生まれの三流画家「ユアサエボシ」（1924-1987）に「擬態」して制作した絵画を発表してきました。ユアサの活動はコラージュの技法を用いた絵画制作だけではなく、「ユアサエボシ」の研究者としての年譜作成や交友関係の調査、資料の発掘におよびます。現代を生きるユアサは「ユアサエボシ」を研究し、疑似的に戦後アヴァンギャルド作家と同時代を生きることによって、独自の絵画を模索します。
- 2 会 期 令和8年10月31日（土）～12月27日（日） 実働50日間
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 4 内 容 絵画、版画、コラージュ、関連資料 90点程度
- 5 図 録 制作する
- 6 観 覧 料 1,000円
- 7 イベント 講演会、ギャラリートークなどを開催
- 8 観覧者見込 11,000人（220人／日）
- 9 担 当 学芸員 木下紗耶子

野見山曉治展（仮称） 開催要項

- 1 開催趣旨 野見山曉治は50年以上に亘り練馬区にアトリエを構え、作画活動を行った練馬区ゆかりの作家です。練馬アトリエでは数多くの絵画作品が生まれたのと同時に、『アトリエ日記』の連載などエッセイストとしても活躍。1978年にはエッセイスト・クラブ賞を受賞しています。野見山の絵画作品と文筆活動を紹介するこの展示では、初公開の小説や、パリで若くして病死した妻への想いを綴った『パリ・キュレイ病院』と、死せる妻を写したスケッチ（初公開）のほか、野見山の義弟であった作家、田中小実昌にフランス留学中であてた手紙などを紹介します。
- 2 会 期 令和9年2月21日（日）～ 3月31日（水）（予定） 実働33日間
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 4 内 容 油彩画、スケッチ、原稿など
- 5 図 録 制作する
- 6 観 覧 料 1,000円
- 7 イベント 講演会、ギャラリートークなどを開催
- 8 観覧者見込 8,910人（270人／日）
- 9 担 当 学芸員 加藤陽介

(3)教育普及事業

令和8年度 教育普及事業計画(案)

令和8年2月28日現在

I) 展覧会関連事業

	事業名	概要
1	展覧会関連 ギャラリートーク・ アーティストトーク等	《内容》 展示室内で担当学芸員や出品作家、関係者が展示解説やトークを行う。 ※年3回程度開催予定 ※【対象】誰でも可 【定員】なし 【参加費】当日の観覧券が必要
2	展覧会関連 講演会・ワークショップ 等	《内容》 展覧会の観賞体験をより豊かなものとするため、作家や研究者を招いた講演会のほか、講師の指導・助言をもとに相互に学び・体験するワークショップ等も行う。 ※年4回程度開催予定 ※【対象】・【定員】・【参加費】は内容によって異なる。

II) アートマルシェ

	事業名	概要
1	アートマルシェ	《目的》 美術館の再整備基本構想のコンセプトのひとつである「まちと一体化した美術館」に基づく事業として、まちと人とアートが祝祭的な雰囲気の中で出会う場を創出する。 《内容》 練馬区の「美術のまち構想」の取り組みの一環として、美術館再整備まちづくり担当課、図書館とともに実施するイベント。美術館は、ワークショップ並びにパフォーマンス事業を主催とする。ワークショップでは、子どもを対象とした制作系ワークショップを開催する。パフォーマンス事業では、美術の森緑地など美術館周辺を舞台に、パフォーマンス協会と中高生によるダンス・イベントを予定している。またマルシェ当日には、令和7年度より始動したボランティアによる運営サポートも検討している。 なお、アートマルシェは9月12日に開幕するまちなかでの展示を中心とする展覧会「アーツ中村橋2026」の最終日を飾る催しに位置づけられる。 ※開催予定日:令和8年11月7日(土)、11月8日(日) ※【対象】【定員】【参加費】は内容によって異なる。

III) 講演会・ワークショップ等

	事業名	概要
1	中高生の美術ゼミ	《目的》 中高生を対象とした講座等を実施し、10代から美術の世界を知り、美術への興味・理解を深める機会の一助とする。また、将来にわたる美術ファン層の拡大に繋げる。 《内容》 中高生を対象とする通年開催の「美術ゼミ」。 アートにふれることを目的に、第一線で活躍するアーティスト、美術史家、研究者、修復家等の「美術」を支える様々な分野のプロフェッショナルを招き、学校では経験できない講義・制作体験を提供する。年10回の連続講座とし、修了書を発行予定。 また、単回での参加も一定割合可能とする。 動画や記録集で、参加できない方や対象外の方もゼミの内容に触れられる機会の提供も予定している。 ※年10回開催予定 ※【対象】中高生 【定員】各回30人 【参加費】参加方法(通年・個別)により異なる

2	小学生 ワークショップ	<p>《目的》 小学生を対象のワークショップを実施し、造形に親しむことで美術への興味関心を培い、自由な想像力を養う。</p> <p>《内容》 小学生対象のワークショップを年4回開催。アーティストやデザイナーなどを講師として招聘する。手を動かす楽しさや造形表現への関心を培い、自由な想像力を養えるような講座とする。4回のうち2回は成果発表展示を見込んだワークショップとし、制作することに加えて、作品を完成させ展示するという体験につなげる。</p> <p>※ワークショップ:年4回開催予定、成果発表展:令和9年1月13日(水)～1月24日(日) ※【対象】【定員】【参加費】は内容によって異なる。</p>
3	練馬の博物誌	<p>《目的》 世代を超えた多角的な視点から、美術を通じて、地域の文化的な資源を発見する。</p> <p>《内容》 美術家・榎本寿紀氏を講師にむかえ、練馬区の風土・歴史・文化を美術の視点で捉えて、「練馬の博物誌」を制作する連続ワークショップ。 子どもから大人までを対象とし、記憶力・観察力・想像力を用いてコラージュ、絵画、立体作品、写真などといった美術の手法で、練馬の魅力や日常を再発見することを目指す。 全てのワークショップが終了した後は、各回の制作物を一堂に会して展示する成果発表展を開催し、「練馬の博物誌」として紹介する。</p> <p>※ワークショップ:年5回開催予定、成果発表展:令和9年1月28日(木)～2月14日(日) ※【対象】【定員】【参加費】は内容によって異なる。</p>

IV) ボランティア

	事業名	概要
1	ボランティア	<p>《目的》 美術館の多様な活動を知り、参加してもらうことで、地域と美術館をつなぐ人材育成を行う。</p> <p>《内容》 本事業は令和7年度より開始した「まちとひととアートでつながる」ボランティア活動の2年目にあたる。8年度は「アートマルシェ」や「アーツ中村橋2026」の運営サポート、教育普及事業の補助等、様々な美術館の活動に自主的な参加の機会を提供する。 長期的には、美術館リニューアル後のアートコミュニケーター制度を見据えたものである。</p> <p>※【対象】18歳以上 【定員】15名程度 【参加費】無料</p>

V) 学校関連事業

パンフレットを作成し各学校に配布する。

スクールプログラム	
① 団体鑑賞	クラス・学年単位で展覧会団体鑑賞を受け入れる。
② 施設見学	各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介する。
③ 出張プログラム	担当者が学校へ赴き展覧会の見方や美術制作などの授業を行う。
ティーチャーズデイ	展覧会を学校の授業等で活用してもらうため、区内小中学校の教師を対象とした展覧会鑑賞日を設け、担当学芸員が展覧会や教育普及事業の説明を行う。

(4) 地域連携事業

近隣商店街との連携 商店街に展覧会ポスター・チラシを掲出。
貫井図書館共催ワークショップ 併設の貫井図書館と共催してワークショップを行う。

(5) 資料収集・整理、保存事業

資料の収集業務(一次候補の抽出)や整理・保管等を行う。

(6) 広報業務

ニュースレターの発行、ホームページ発信、SNSの活用などにより広報活動を行う。

(7) 施設貸出事業

	対象施設	内容等
1	創作室	利用できる方:主に美術作品を制作する団体や個人に貸出。 午前・午後を単位として利用可能(利用回数は申込時期により異なる)。 利用料金は午前(10時～午後1時)1,200円、午後(2時～6時)1,400円。
2	一般展示室 (区民ギャラリー)	美術作品の展示発表を目的とする団体や個人に貸出。 1日単位、連続6日以内(展示・撤去を含む)まで利用可能。 利用料金は1日あたり4,000円。

2 令和7年度 事業報告(中間)

(1) 展覧会事業

令和7年度 展覧会事業日程および観覧者数

令和8年3月8日時点

(ア) 企画展・コレクション展

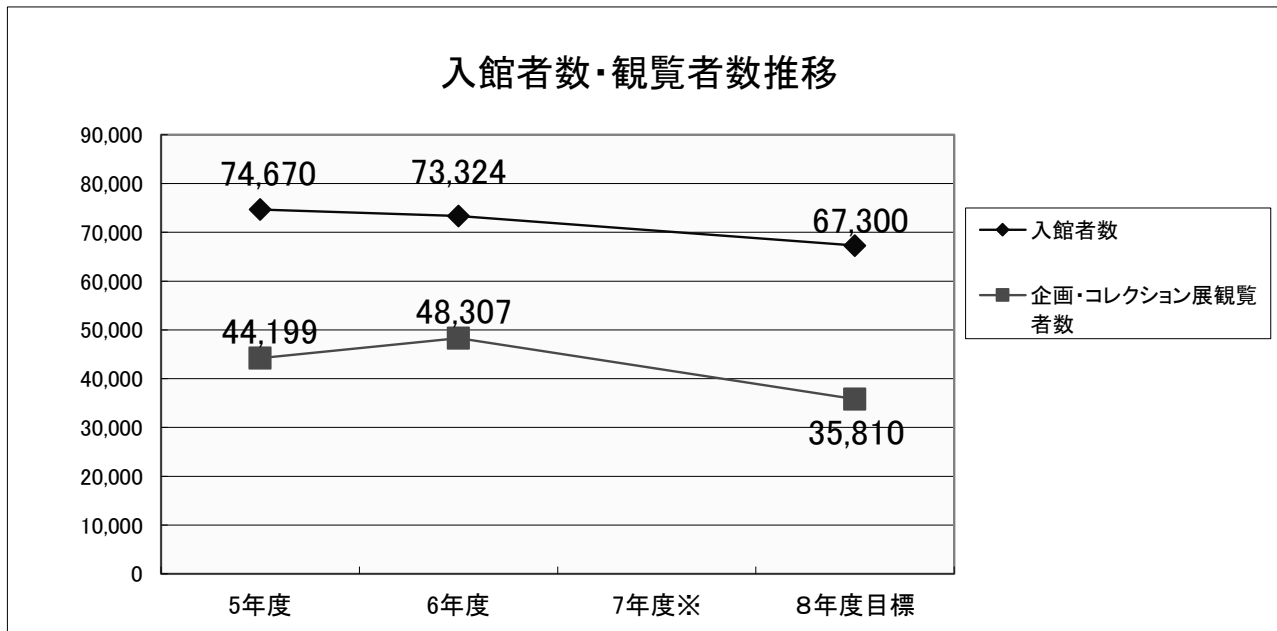
開催期間	展覧会	開催日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
9月10日(水) ～9月28日(日)	アートマルシェ2025 「身体で感じる緑とアート」展	17	6,000 (353)	3,710 (218)	61.8%
1月25日(日) ～3月8日(日)	ねり美・ふる文コラボ企画 もっと浮世絵で行こ！幕末明治の暮らし、娯楽、事件…	37	15,355 (415)	10,124 (274)	65.9%
	合 計	54	21,355 (395)	13,834 (256)	64.8%
	前年度	183	55,600 (304)	48,307 (264)	前年度比 28.6%

(イ) 各種展覧会

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者実数 (1日当り)	前年度比
4月6日(日) ～4月13日(日)	第71回練馬区美術家協会展	7	1,084 (155)	
12月11日(木) ～12月26日(金)	第57回練馬区民美術展	10	1,973 (197)	
	合 計	17	3,057 (180)	前年度比 80.7%
	前年度	17	3,787 (223)	

(ウ)入館者数

入館者数比較	6年度	7年度	前年度比
	73,324	25,000 (見込)	34.1%



※7年度見込み(参考値)
 入館者数 25,000人
 企画・コレクション展観覧者数 13,834人

(2)美術作品の収集事業

令和6年度 美術作品の収蔵状況

(令和7年3月31日現在)

年度	日本画		洋画		版画		工芸		書		彫刻・立体		その他		計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
S55	6		9	1			1	2							16	3	19
60	1	1	5	1		1				1					6	4	10
61		7	14	221	14	28								317	28	573	601
62	3	1	32	16	9	1							1	1	45	19	64
63	2	1	15	1	12										29	2	31
H1	2		5	48											7	48	55
2	4	1	19	29	4	1									27	31	58
3	2	1	14	13											16	14	30
4	2	1	12	10	18	9									32	20	52
5	2		1	2											3	2	5
6	1	1	15	7		1					1				17	9	26
7	2	4	4	3		1					1				6	9	15
8	1	2	2	9	5	1									8	12	20
9			12	2	1	46									13	48	61
10	3	4	12	21											15	25	40
11		4	12	5		134									12	143	155
12		8		11											0	19	19
13				13											0	13	13
14		29		13											0	42	42
15		1	6	8	12	77									18	86	104
16		65		6											0	71	71
17		6		20											0	26	26
18		30		121		97								8	0	256	256
19		17		40				5			7		7	0	76	76	76
20		8		31		21									0	60	60
21		8		44		98					13				0	163	163
22		11		168		9								3		191	191
23		8		13							1		123		145	145	145
24		32		10		33										75	75
25															0	0	0
26		13	1	422		215					22		2084	1	2756	2757	2757
27		5		97		112		25					18	0	257	257	257
28		25		22												47	47
29															0	0	0
30		5		11		25								15		56	56
R1		1		2				16			3		28		50	50	50
2		1		12		1					17		6		37	37	37
3				62		1					3		30		96	96	96
4			2	20		5									2	25	27
5		1		32		149										182	182
6		4	2	13		1					10		99	2	127	129	129
合計	31	306	194	1580	75	1067	1	48	0	1	1	77	1	2739	303	5818	6121

令和7年3月31日現在
寄託作品 1,582点

購入・寄贈・寄託計 7,703点

(3)令和7年度 広報活動と反響

『身体で感じる緑とアート展』

令和7年9月10日～9月28日

<新聞>	
【記事】	【一覧】
	東京新聞 9月3日
<会員誌、フリーペーパー等>	
ARIFT(旧ぼど) 9月号	
<WEB>	
アートアジェンダ	Tokyo Art Beat
Sfumart (スフマート)	TOMIO KOYAMA GALLERY
個展なび	美術展ナビ
展覧会・博物館・美術館・記念館	とっておきの練馬
MIRAI～ちょっと先のミライを探しに行こう	Padograph
ウェブ版美術手帖	Tokyo Live&Exhibits
JDN	
<その他>	
練馬区公式LINE 8月22日、9月5日	
練馬区公式X(旧Twitter) 8月22日、9月6日	
練馬区公式ホームページ	
ねりま区報 9月1日	

『ねり美・ふる文コラボ企画 もっと浮世絵で行こ！ 幕末明治の暮らし、娯楽、事件…』

令和8年1月25日～3月8日

<新聞>	
【記事】	【一覧】
	朝日新聞夕刊 1月20日
	東京新聞 1月21日
<雑誌>	
美術の窓 11月20日	美術の窓 1月20日
版画芸術 210号	江戸楽 2月20日

<会員誌、フリーペーパー等>

ぶんか村 12月1日

貫井図書館だより 3月号

<WEB>

アートアジェンダ

MIRAI~ちょっと先のミライを探しに行こう

Tokyo Live&Exhibits

ぴあアプリ/WEBのアートニュース

ウォーカープラス

美術手帖

個展なび

PR TIMESの転載 67件

スフマート

WEBさんたつ

ギャラリーガイドネット

GO TOKYO

<その他>

ジェイコム ジモトトピックス (1月24日~30日、地域のイベント情報)

練馬区公式ホームページ

練馬区役所庁舎内等モニター広告 1月21日~3月8日

練馬区公式LINE 1月23日

練馬区公式X (旧Twitter) 1月23日

練馬区公式facebook「多文化ねりま」 1月19日

<広告>

石神井公園駅駐輪場デジタルサイネージ 1月24日~3月8日

大泉学園駅駐輪場デジタルサイネージ 1月24日~3月8日

京王線駅貼りポスター

1月5日~2月8日、2月16日~3月1日 (新宿駅)

1月12日~1月18日、2月9日~2月15日 (渋谷駅)

2月2日~2月8日 (新宿駅アドストリート①②、明大前駅)

SNS 広告 (Facebook/Instagram/X/Yahoo!YDA) 2月16日~3月7日

『第 71 回練馬区美術家協会展』

令和 7 年 4 月 6 日～4 月 13 日

<会員誌、フリーペーパー等>

かるがも便り 99 号

<その他>

ねりま区報 4 月 1 日

練馬区公式ホームページ

練馬区公式 X (旧 Twitter) 4 月 5 日

練馬区公式 LINE 4 月 4 日

『第 57 回練馬区民美術展』

前期：令和 7 年 12 月 11 日～12 月 16 日 後期：令和 7 年 12 月 21 日～12 月 26 日

<雑誌>

・アートフィールドウォーキングガイドギャラリー11
・美術の窓 12 月号
・美術の窓 1 月号

<その他>

ねりま区報 12 月 1 日

練馬区公式ホームページ

文化・生涯学習課公式 X 12 月 8 日 12 月 25 日

教育普及事業

<会員誌、フリーペーパー等>

【ネリビ図工室】

情報誌 ARIFT 7 月号

<WEB>

【中高生の美術ゼミ】

PR TIMES の転載 55 件

yahoo! ニュース

美術手帖

【美術と社会】

PR TIMES の転載 50 件

koubo

ネット TAM

<その他>

【教育普及事業ラインナップ】

練馬区公式LINE 4月25日

練馬区公式X(旧Twitter) 4月25日

ねりま区報 5月1日

【中高生の美術ゼミ】

練馬区公式LINE 5月9日

練馬区公式X(旧Twitter) 5月9日

ねりま区報 11月21日

【小学生ワークショップ】

練馬区公式LINE 5月9日、6月20日、7月11日、7月18日

練馬区公式X(旧Twitter) 5月9日、6月18日、7月13日

J:COM ジモトトピックス、地域情報アプリ「ど・ろーかる」 6月28日～7月4日

ねりま区報 7月1日

【バックヤードツアー】

練馬区公式LINE 5月16日

練馬区公式X(旧Twitter) 5月16日

【アートマルシェ】

練馬区公式LINE 7月18日

練馬区文化・生涯学習課公式X 7月18日

練馬区役所庁舎内等モニター広告(9月1日～9月14日)

練馬区プレスリリース 9月5日

練馬区公式ホームページ

ねりま区報 9月1日

練馬区立美術館・貫井図書館改築等実施設計について

実施設計業務委託（以下「実施設計」という。）が終了したため、その概要について以下のとおり報告する。

1 実施設計の概要

(1) 設計方針

- ① 年齢や障害に関わらず、誰もが美術館・図書館、美術の森緑地を一体的に利用できるようユニバーサルデザイン設計を導入する。
- ② 美術館と図書館の従来の基本的機能を維持したうえで、機能的・空間的に融合し、互いの特徴を活かしたイベント等が展開できる機能空間を創出する。
- ③ 環境に配慮するため、ZEB Ready（一次エネルギー消費量 50%以上削減）を目指し、建物の省エネ化を図る。
- ④ 中村橋駅や商店街、所々に設けられたアートスポットが連なる大きな回遊路（アート・コミュニケーション・コリドー）の一部として位置付け、まちと一体となった美術館・図書館として、まちに開かれた建物とする。
- ⑤ 美術の森緑地はパブリックスペースとして、既存の屋外彫刻群を活かしたまちとつながる公園空間とする。

(2) 設計概要

① 美術館・図書館

構造：鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造（地上 4 階、地下 1 階）

敷地面積：4,090.41 m²

建築面積：3,269.97 m²

延床面積：9,018.99 m²

美術館ゾーン：約 4,100 m²

図書館ゾーン：約 1,620 m²

共用部ゾーン：約 2,630 m²

共用部その他ゾーン：約 670 m²

② 美術の森緑地

敷地面積：1,894.63 m²

(3) 配置図等

別紙のとおり

(4) 概算工事費

- ① 美術館・図書館改築概算工事費 約 150～160 億円
- ② 美術の森緑地改修概算工事費 約 1.9 億円



計画建物

美術の森緑地

職員用駐輪場

駐輪場

駐車場

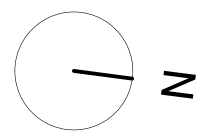
優先

駐輪場

駐輪場

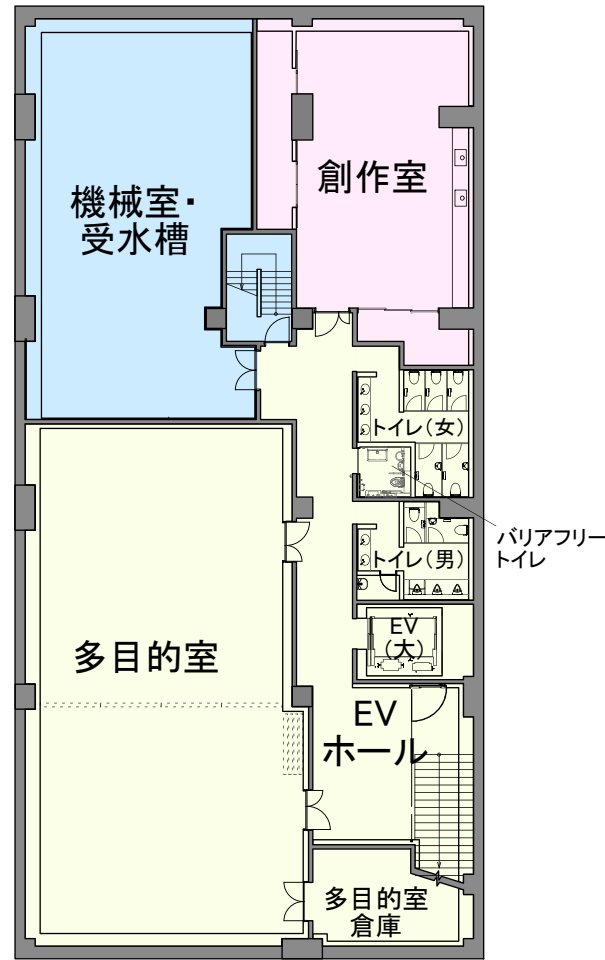
駐輪場

配置図



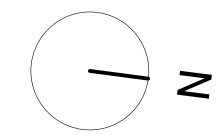
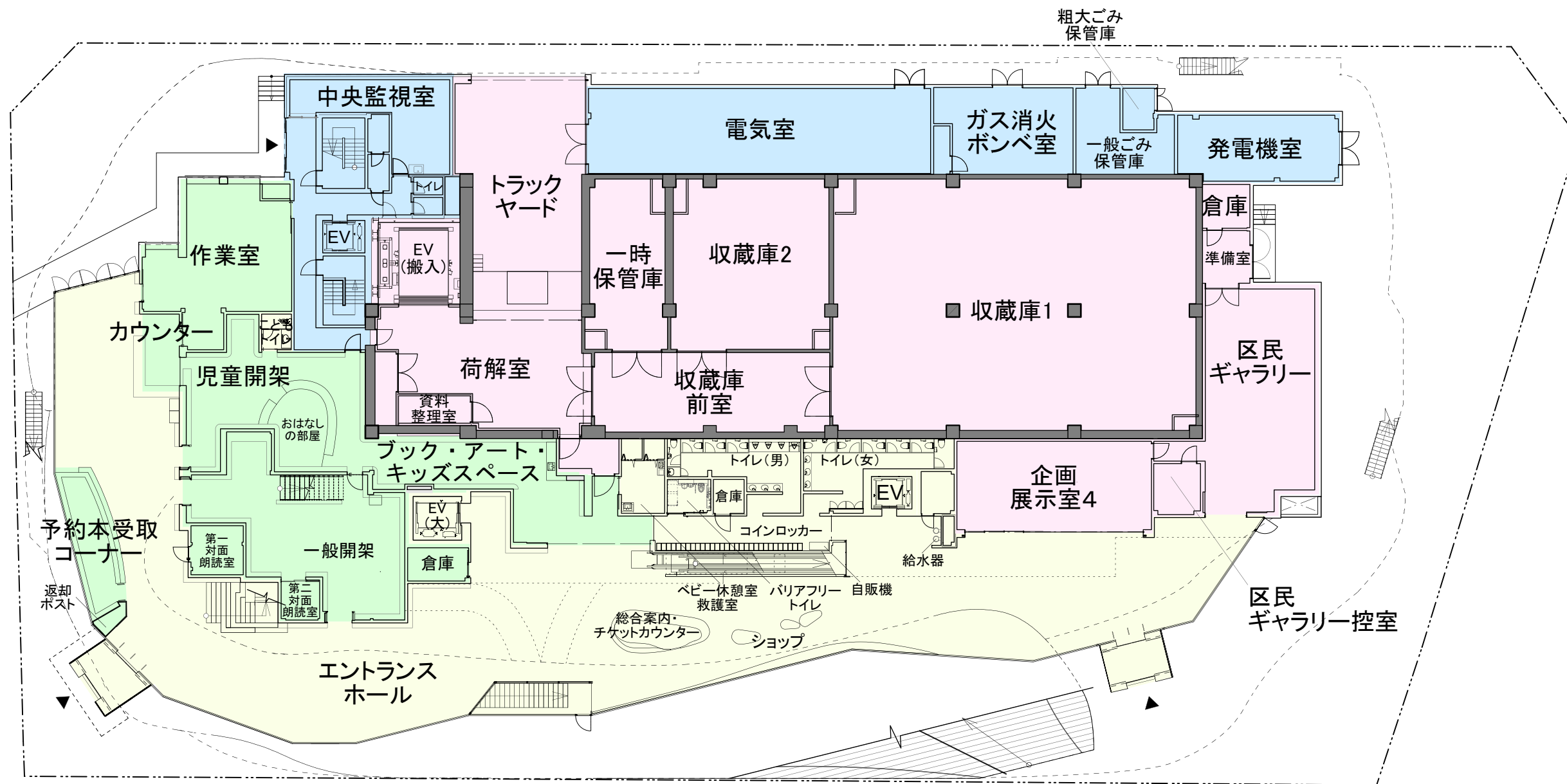
(凡例)

- 一般動線
- 職員動線
- 搬入動線(美術館)
- 搬入動線(図書館)



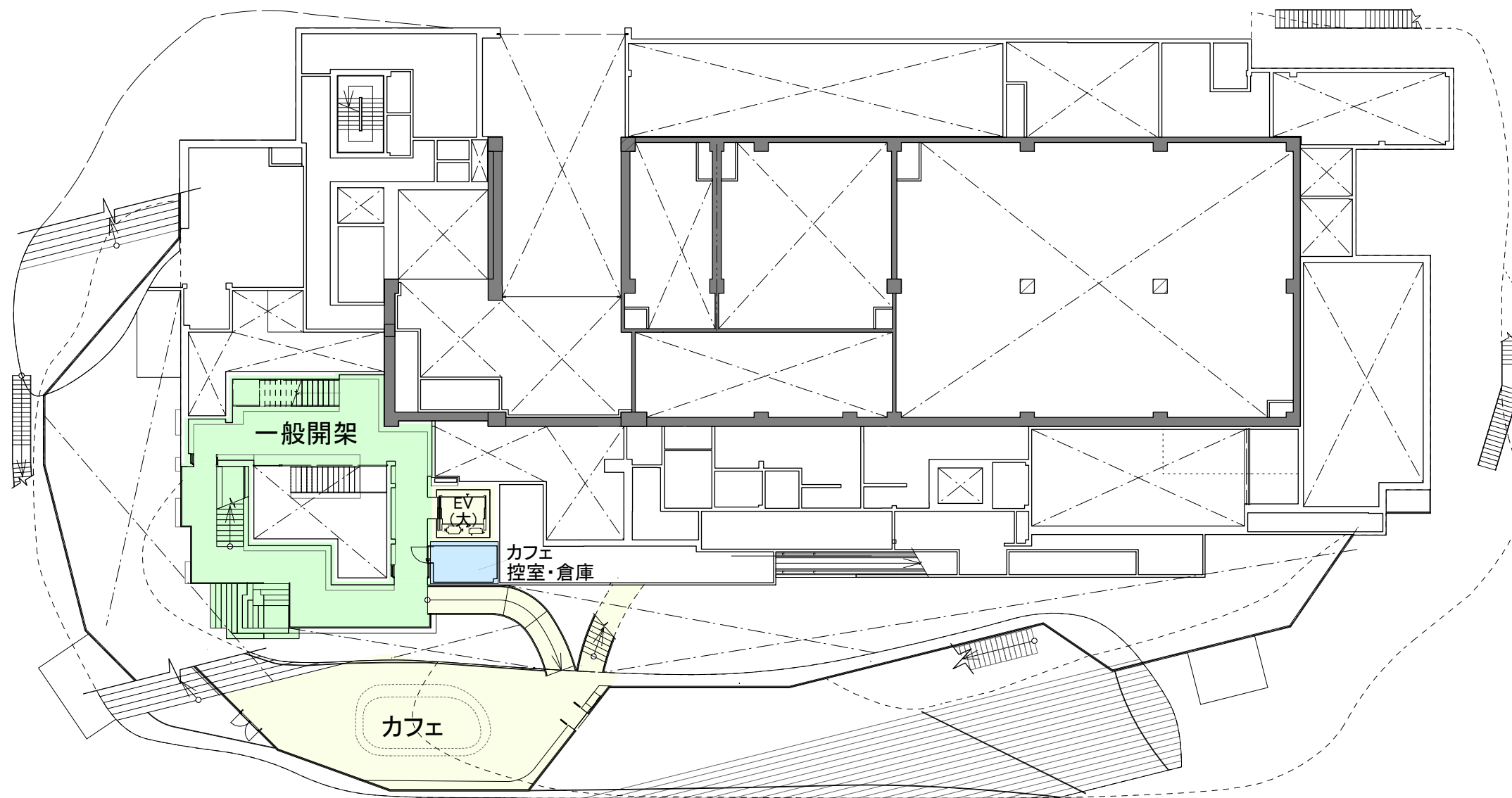
地下1階平面図

- (凡例)
- 美術館ゾーン
 - 図書館ゾーン
 - 共用部ゾーン
 - 共用部その他ゾーン



1階平面図

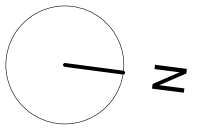
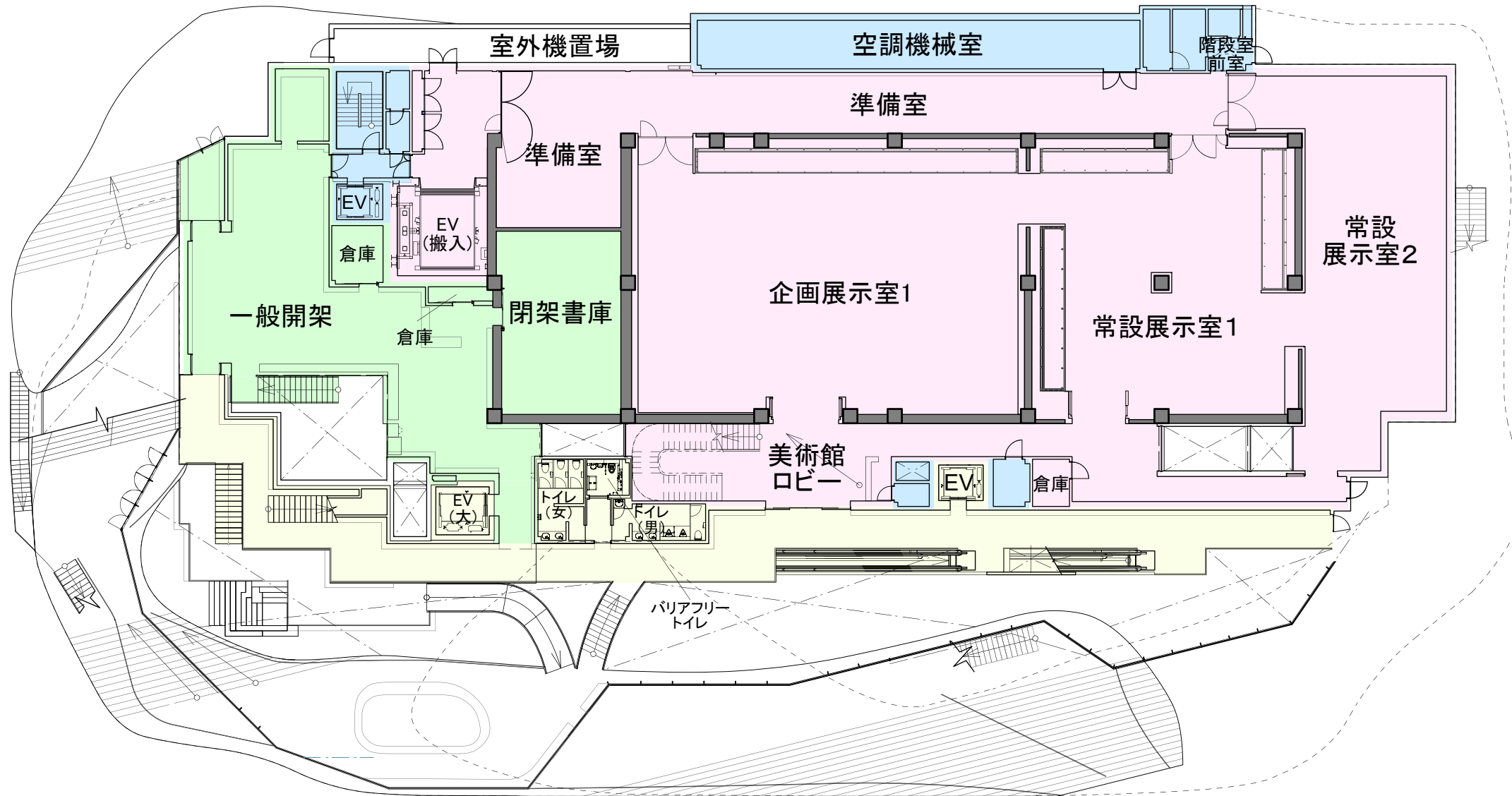
- (凡例)
- 美術館ゾーン
 - 図書館ゾーン
 - 共用部ゾーン
 - 共用部その他ゾーン



1.5階平面図

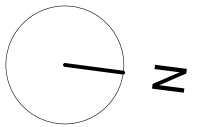
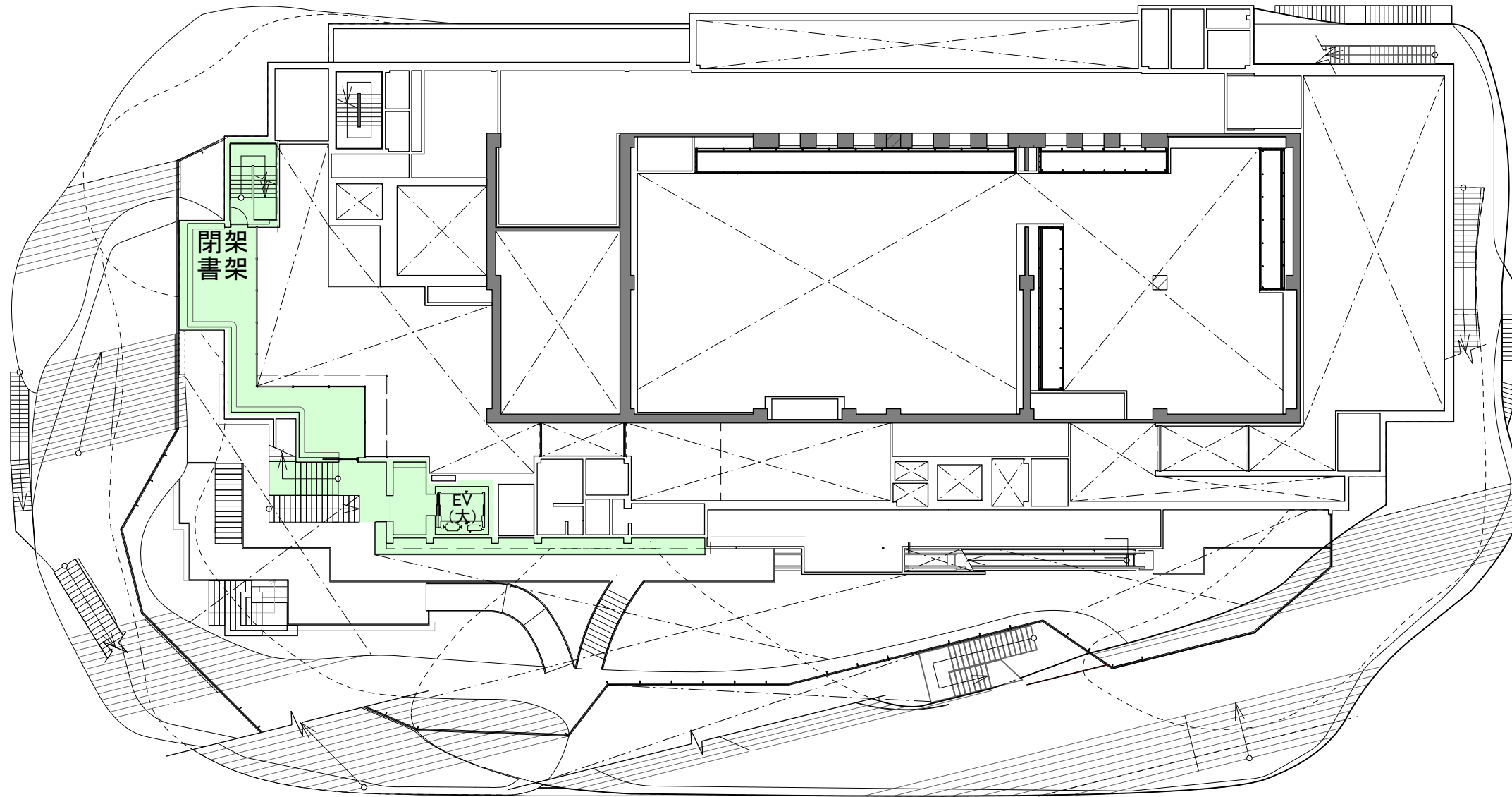
(凡例)

	美術館ゾーン
	図書館ゾーン
	共用部ゾーン
	共用部その他ゾーン



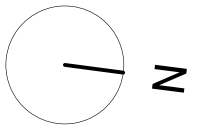
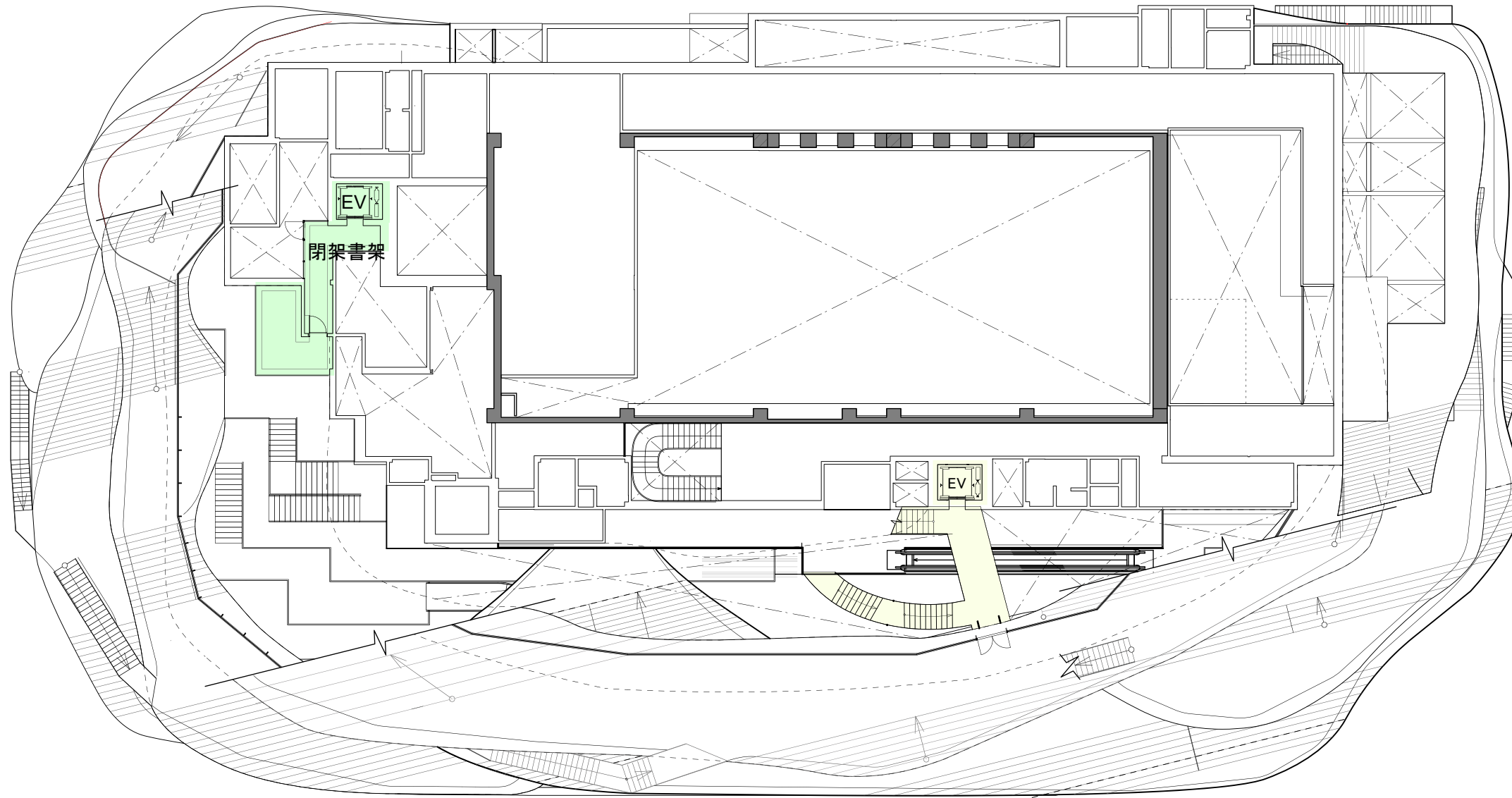
2階平面図

- (凡例)
- 美術館ゾーン
 - 図書館ゾーン
 - 共用部ゾーン
 - 共用部その他ゾーン



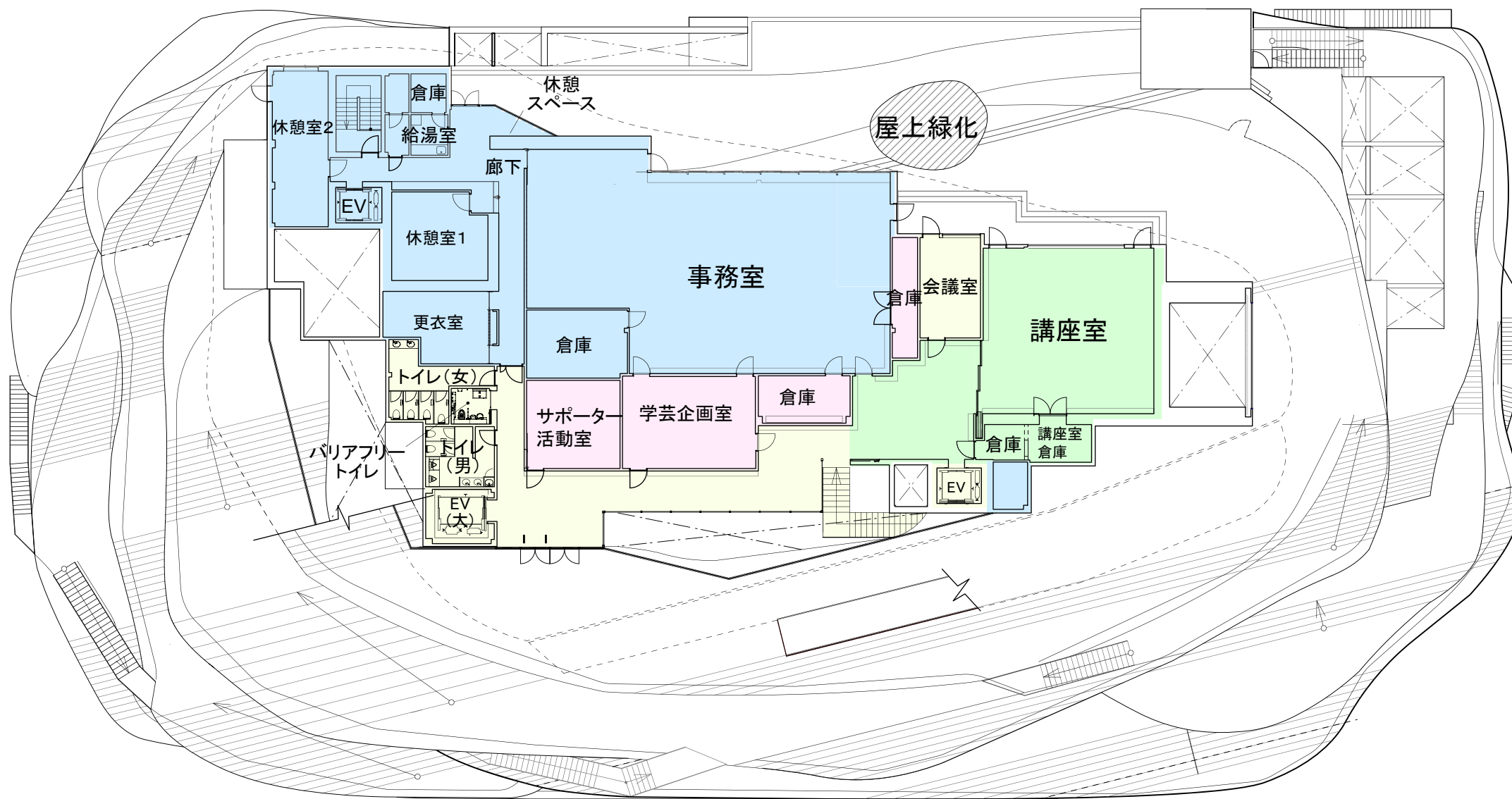
2.5階平面図

- (凡例)
- 美術館ゾーン
 - 図書館ゾーン
 - 共用部ゾーン
 - 共用部その他ゾーン



3.5階平面図

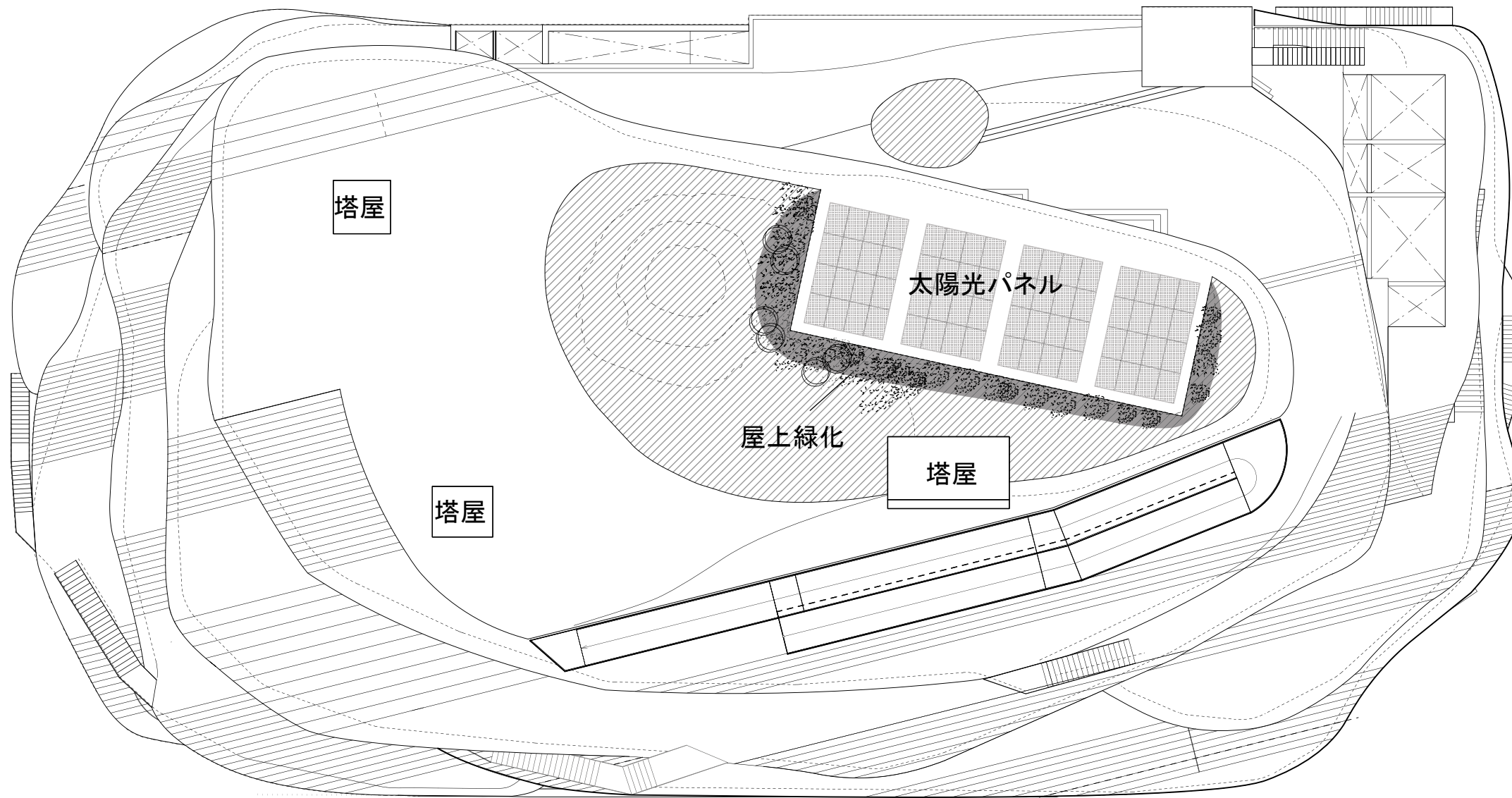
- (凡例)
- 美術館ゾーン
 - 図書館ゾーン
 - 共用部ゾーン
 - 共用部その他ゾーン



4階平面図

(凡例)

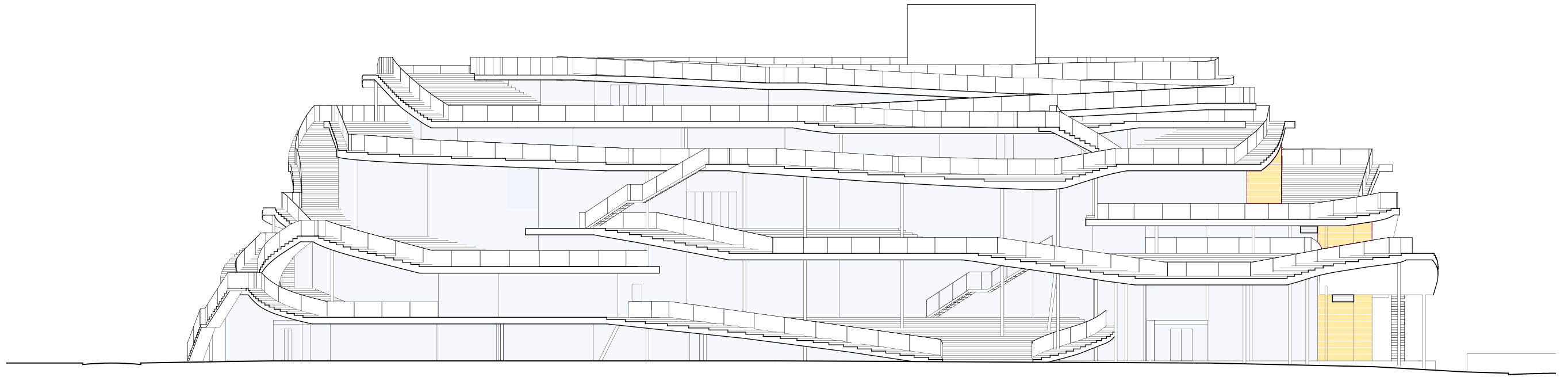
	美術館ゾーン
	図書館ゾーン
	共用部ゾーン
	共用部その他ゾーン



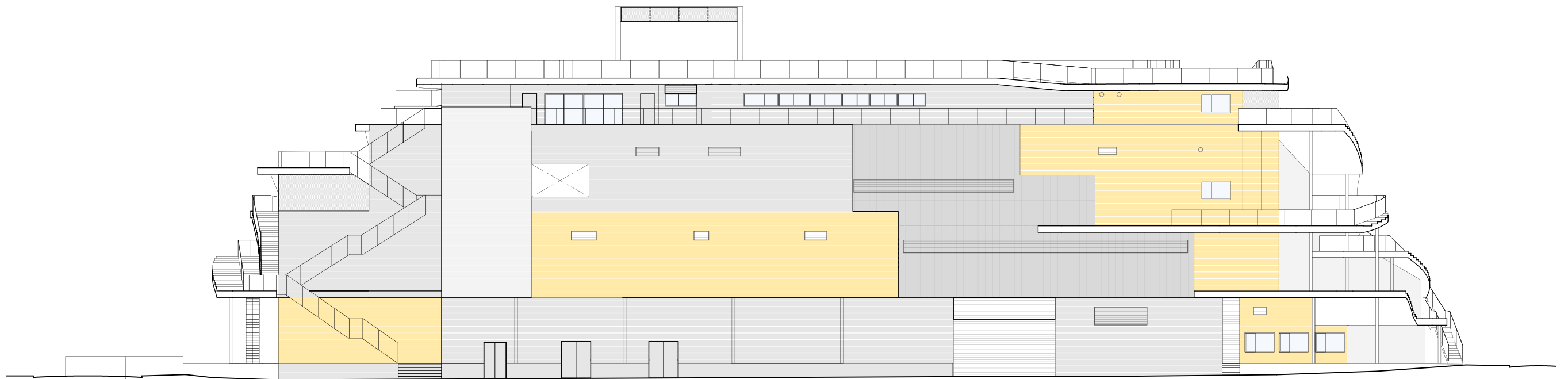
屋上階平面図

(凡例)

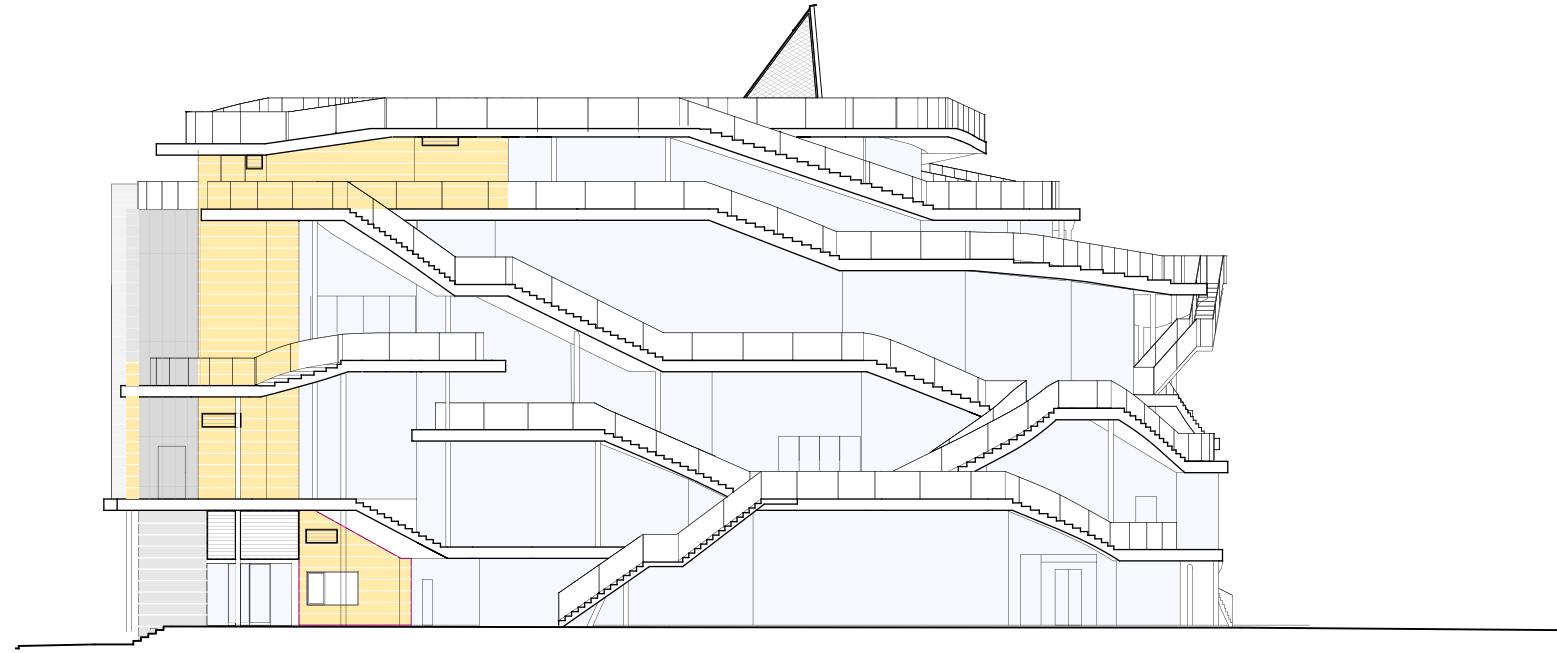
	美術館ゾーン
	図書館ゾーン
	共用部ゾーン
	共用部その他ゾーン



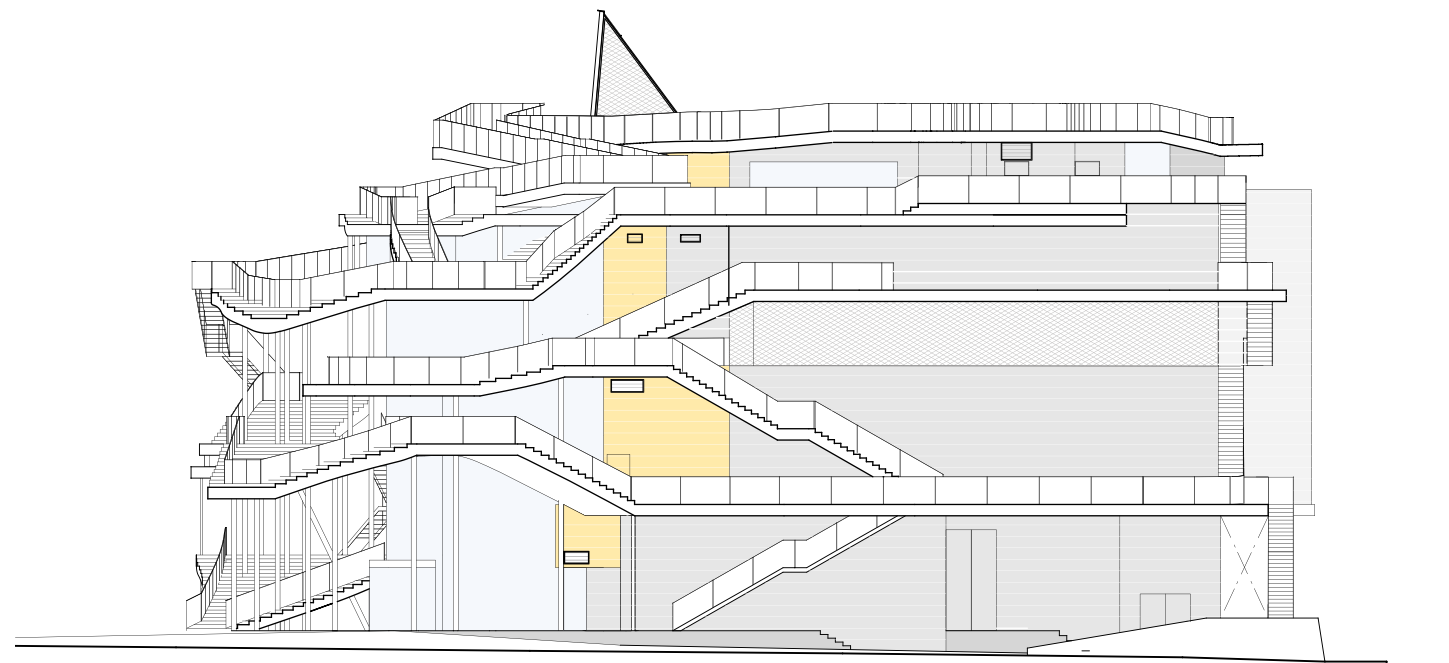
東側立面図



西側立面図



南側立面图



北側立面图













